

今日のキーワード OPEC「生産枠」遵守で需給好転へ（グローバル）

OPEC（石油輸出国機構）は、国際石油資本から石油産出国の利益を守ることを目的として、1960年9月に設立されました。加盟国は2017年5月現在で13カ国を数えます。その原油生産量は世界の33%程度を占め、原油の供給や価格形成といった面で依然、重要な役割を担っています。OPECの最高意思決定機関は、全加盟国が参加する総会です。OPECの当面の焦点は、現行の「生産枠」が継続されるかどうかです。

ポイント1 OPECは「生産枠」を遵守 合意された上限を下回る生産量

- OPEC月報の2017年5月号によれば、4月のOPEC原油生産量は日量3,173万バレルとなり、16年11月の臨時総会で合意した生産枠の同3,250万バレルを77万バレルほど下回りました。1-3月期実績の同3,194万バレルとの比較では、同21万バレルの減産となります。

ポイント2 サウジアラビアの貢献大 「生産枠」の継続が目先の焦点

- 生産枠の設定を免除されているリビアとナイジェリアを除く加盟11カ国のうち、4月の減産幅（生産量上限と生産実績の比較）が大きかったのはサウジアラビア（同10万バレル）、イラン（同4万バレル）、アラブ首長国連邦（UAE、同3万バレル）などです。他方、上限を超えたのは4カ国で、いずれも小幅にとどまりました。このほかロシアなどOPEC非加盟の産油国も減産を進めています。
- 国際エネルギー機関（IEA）によれば、世界的な景気拡大の持続やOPECによる協調減産の実施などから、17年の原油需給は需要超過に転換する見込みです。OPECの「生産枠」は今年6月末に期限を迎えますが、5月25日開催予定の定例総会で「生産枠」維持が決定されると考えられます。

【OPEC加盟国の原油「生産枠」と生産実績】

国名	生産枠	生産量(2017年)	
		1-3月	4月
サウジアラビア	1,006	989	995
イラク	435	443	437
イラン	380	380	376
UAE	287	293	284
クウェート	271	271	270
ヴェネズエラ	197	200	196
アンゴラ	167	163	169
アルジェリア	104	106	105
カタール	62	61	62
エクアドル	52	53	52
ガボン	19	20	21
リビア	-	66	55
ナイジェリア	-	151	151
OPEC総計	3,250	3,194	3,173

（注1）単位は万バレル/日量。リビアとナイジェリアは生産枠の設定を免除されています。

（注2）四捨五入の関係で各国生産量および生産枠の合計はOPEC総計と必ずしも一致しません。

（出所）OPEC月報2017年5月号等より三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 原油価格は底堅い展開へ

- 足元の原油価格はWTIで見て、バレル当たり50ドルを挟んでもみ合いとなっています。米国のシェールオイルの増産懸念に加え、OPEC「生産枠」の延長を巡る不透明感なども、価格の抑制要因となっているようです。
- 需給動向から判断すると、原油価格が大きく値を崩すことはないと考えられます。ただ、価格がバレル当たり同55ドル～60ドルを超えてくると、シェールオイル増産の公算が大きく、上値も限られる見込みです。当面は50ドル近傍での推移となりそうです。

ここもチェック! 2017年4月19日 鉄鉱石・石炭の価格動向
2017年4月13日 原油価格の動向（2017年4月）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。